

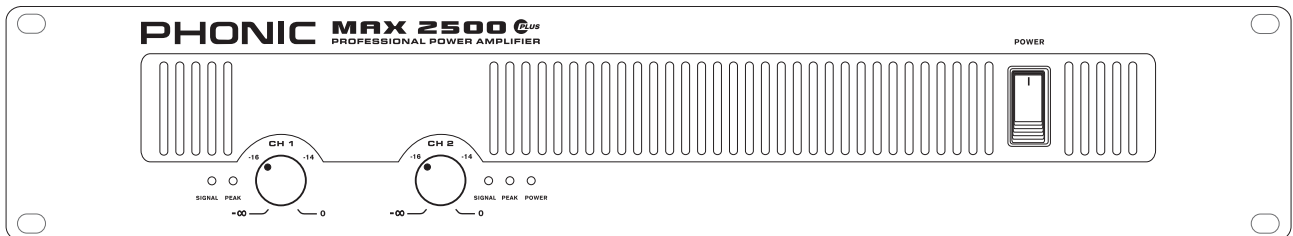
PHONIC

MAX 860 **PLUS**

MAX 1500 **PLUS**

MAX 2500 **PLUS**

POWER AMPLIFIER



MAX 2500 Plus

取扱説明書

MAX 860 

MAX 1500 

MAX 2500 

POWER AMPLIFIER

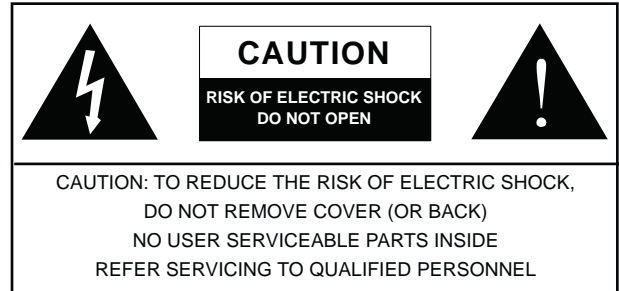
CONTENTS

基本性能	3
ご使用頂く前の準備	3
設置	3
設定と接続	4
プロテクト	8
仕様	9

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

基本性能

- ・2uラックサイズ
- ・本格的なSR機器に対応出来る高出力
MAX860 PLUS: 300W 4ohm
MAX1500 PLUS: 450W 4ohm
MAX2500 PLUS: 750W 4ohm
※ 上記は最大出力です
- ・1/4"フォン、XLRキャノンの入力端子採用
- ・Grounding/ Floatingスイッチ装備
- ・バイディングポスト及びSpeakon出力端子
- ・シグナル/ピークLED
- ・出力DC・本体温度の上昇やスピーカーのショートによる過負荷など不測の事態に対応する保護回路を搭載

ご使用頂く前の準備

- ・当機器は不安定な状態で使用せず、平面に置くかラックに固定するなどした、ぐらつきの無い状態でお使いください。
- ・電源のオン・オフ時にはゲインコントロールを必ず-∞にしてください。
- ・当製品に機器を接続する際は必ず電源を切った状態で行ってください。
- ・本体が汚れた場合は乾いた布を使用し、洗剤やクリーナー・水分を含む物の使用は避けてください。

設置

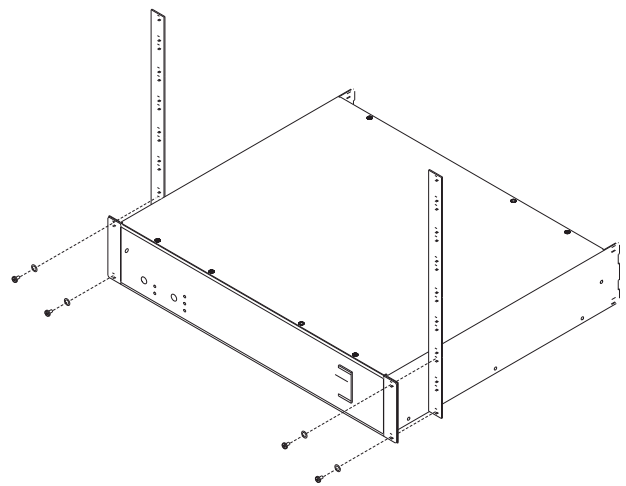
ラックマウント

19インチラック・2uサイズでマウント可能です。温度の上昇を避けるためにも他の機材との併設は控え、やむ負えない場合は放熱の為のスペースを持たせてください。

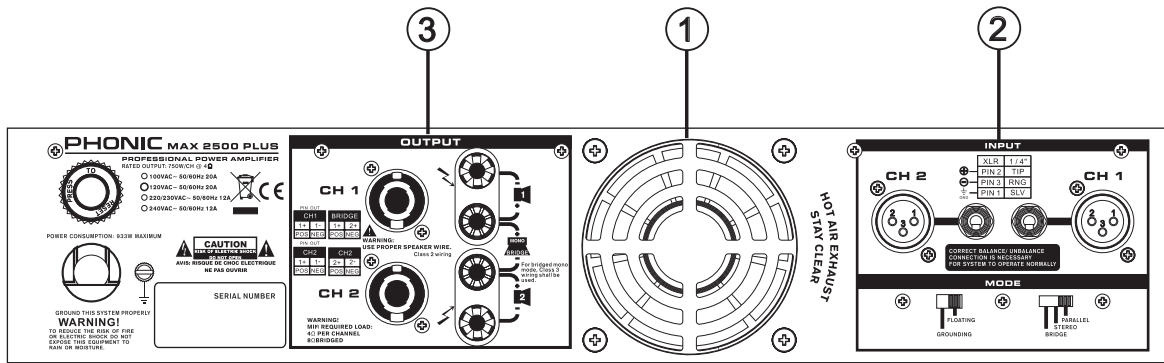
尚、本体重量は約15kgです。

設置・設営の際には十分にお気を付け下さい。出来る限り下部に設置することを推奨します。

(下図参照)



ラックマウント



1. 換気用スピードファン

本体温度に応じて回転速度を自動調整し、本体温度を適切に保ちます。通風孔がふさがれない様にご注意ください。

設定と接続

2. 入力

お手持ちの機材をXLR入力端子または1/4"フォンジャックに接続して下さい。

3. 出力

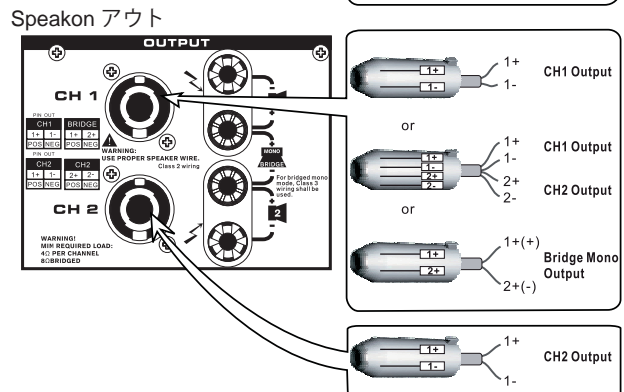
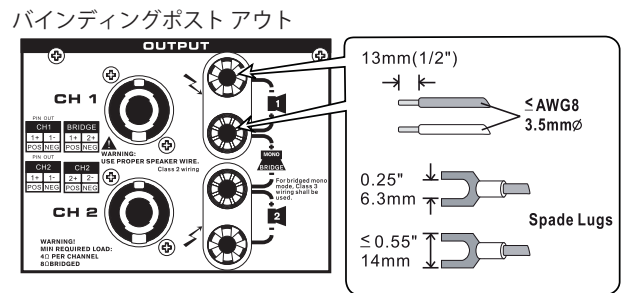
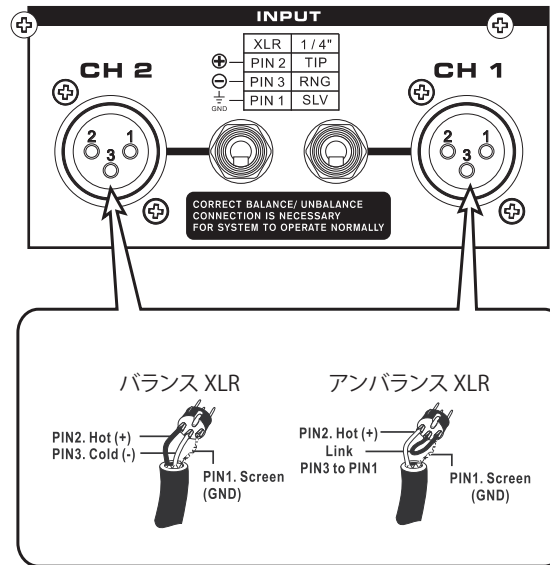
バイディングポスト・Speakonの2種類の出力端子があります。両端子同時の使用は推奨しておりませんのでご注意ください。やむおえず両出力端子にスピーカーを繋ぐ場合はトータルインピーダンスに十分にご注意ください。4Ω以下の付加となった場合、本体に過大な付加が生じ最悪の場合機器を破損します。

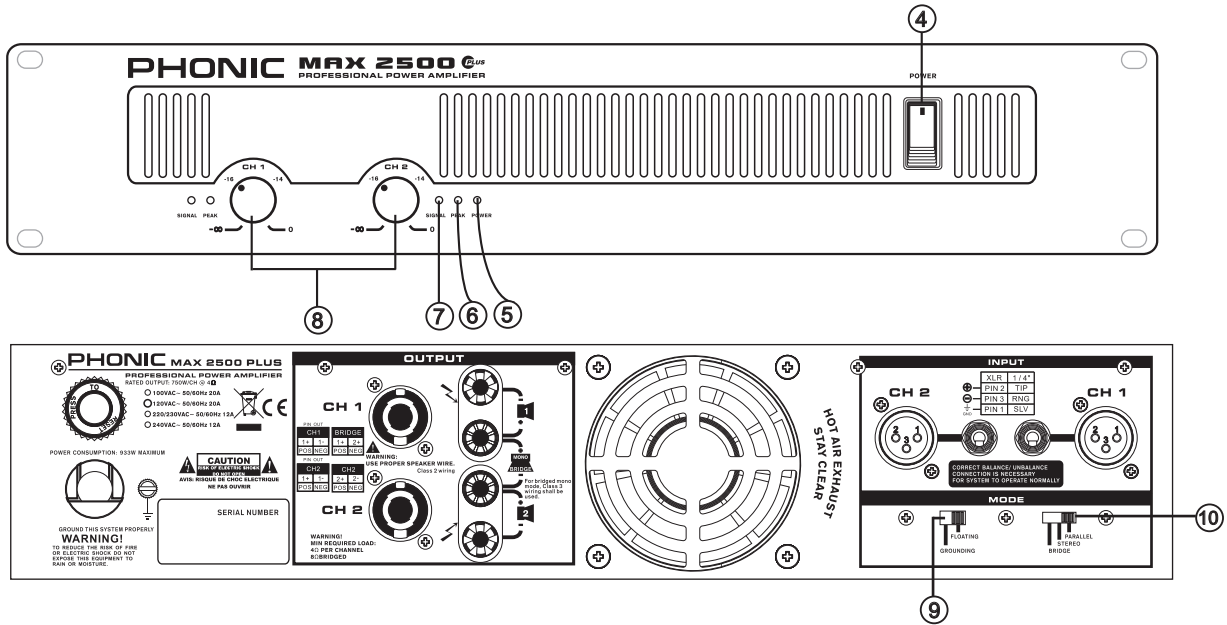
※推奨外の方法での使用は保障対象外となります。

最小インピーダンス

ステレオ、パラレルモード：4 ohm

ブリッジモノモード：8 ohm





フロントパネル

4. 電源スイッチ

電源スイッチです。電源のON/OFFの際はゲインコントロールを最小値にして下さい。一般的なPAシステムではパワーアンプは最後に電源を入れ、最初に電源を切ります。

5. 電源LED

電源がONになった際に、このLEDが青色に点灯します。

6. ピーク表示LED

入力信号レベルの設定が高すぎて音が歪んでしまう状態に近づくとLEDが点灯します。この場合、システム上での音量限界値と考えられますので、LEDが消えるまでゲインコントロールを調整してください。

7. シグナルLED

各チャンネルの信号レベルをモニタリングできます。このLEDが点灯するために必要な最低レベルは-30dBです。

8. GAIN コントロール

入力レベルを設定します。時計回りにまわすと、入力レベルが上昇しますが、6.のピーク表示LEDが常時点灯、コンスタントに点滅しないレベルに調節して下さい。

リアパネル

9. Grounding/Floating スイッチ

グラウンド上での回路とシャーシグラウンドが衝突している際に、その2つを分離させることができます。通常はGroundingをオンにして下さい。Floatingに設定すると、衝突の解決はなされても、他の接続されている部品のグラウンドに依存している状態になります。万が一部品が欠陥すると、音質を低下、電気障害を引き起こし、機材にダメージを与えてしまう可能性があります。

10. モード選択(PARARELL/STEREO/BRIDGE MONO)

パラレル・ステレオ・ブリッジモノの3種類のモードがあります。使用環境に応じて設定ください。

パラレル→1つの入力に対して独立した2つのアンプとして駆動します。

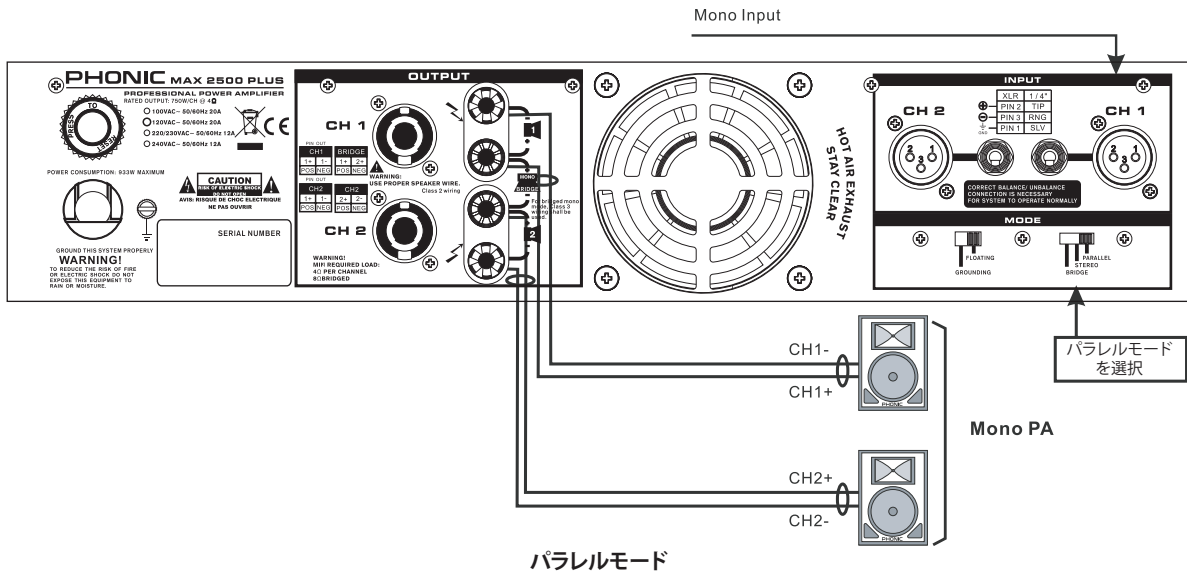
ステレオ→いわゆるステレオアンプです。

ブリッジモノ→高出力のモノラルアンプとして駆動します。

※モードの切替は電源を切った状態で行ってください。

PARALLEL (パラレルモード)

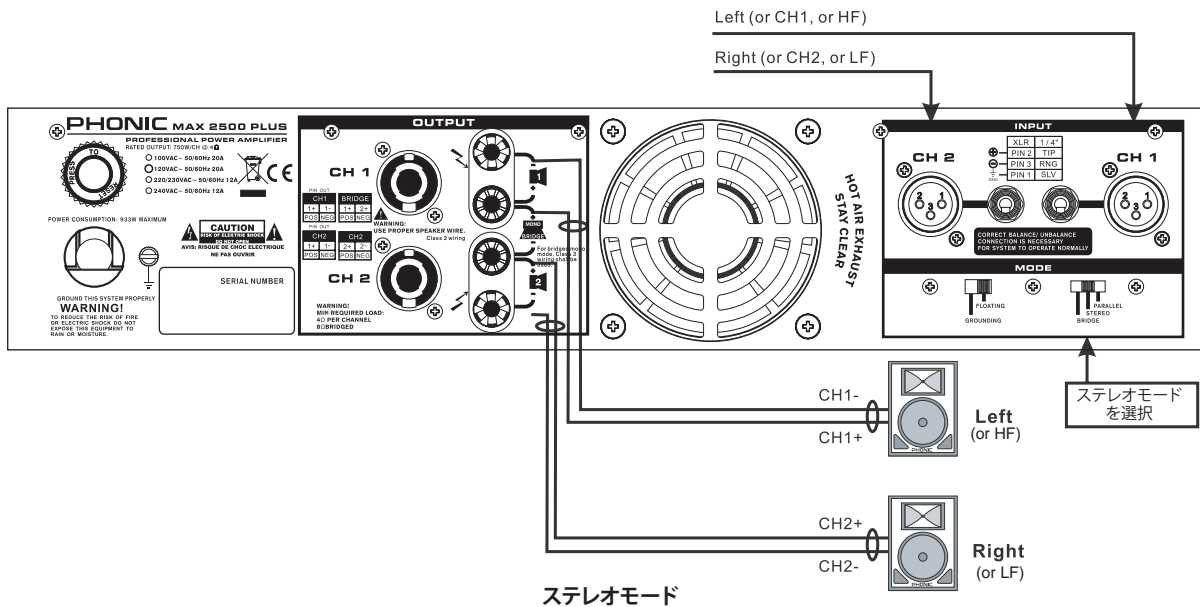
PARARELLモードに設定すると、チャンネル2の入力信号とチャンネル1の信号は並列になるので、1つのシグナルソースに1つの入力ジャックが対応します。しかし、両チャンネルが並列になったとしても、各チャンネルの出力レベルは個々のゲインコントロールで設定します。



STEREO (ステレオモード)

両チャンネルを組み合わせる事で様々な使用が可能です。

- A) 1つのチャンネルが左のチャンネルに割り当てられると、自動的にもう1つのチャンネルは右のチャンネルに割り当てられます。
- B) 1つをメイン、もう1つをモニターにしながら、MONO出力機器を使用することが出来ます。
- C) 当製品はバイアンプのために使用することも可能で、一方を低周波、もう一方を高周波にすることができます。

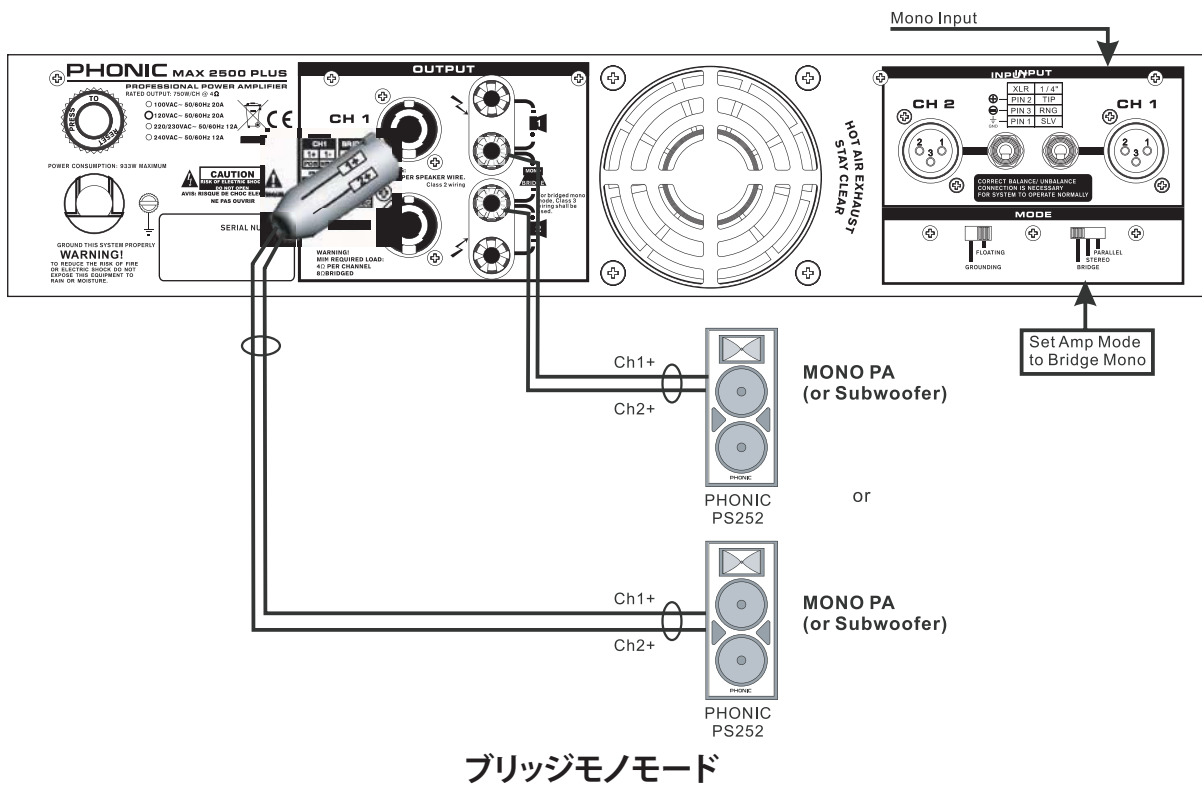


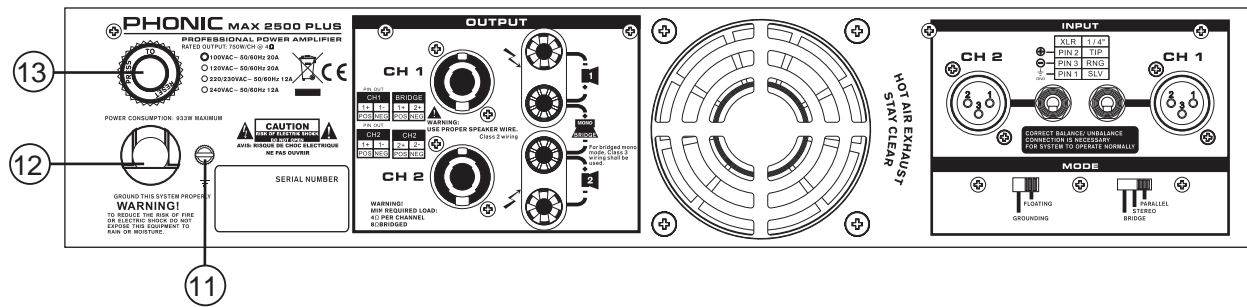
ブリッジモノモード

BRIDGE MONOモードでは両チャンネルの出力を組み合わせます。本モードは他のモードに比べ高出力となりますので、使用するスピーカーに十分な許容入力があるか必ずご確認ください。最低付加は4Ωです。

本モードでは入出力・ゲインコントロールなどがチャンネル1に統一されます。

※チャンネル2のSpeakon端子は使用しないでください。





11. シャーシグラウンド・ポイント

グラウンドループを回避するため、他デバイスと共有できるグラウンド・ポイントです。

12. 電源コード

プラグをコンセントにさす前に、電源ボタンがOFFになっていることを確認下さい。

13. リセットスイッチ

非常時にロックがかかってしまった場合等に、リセットする際に押して下さい。

プロテクト

本機器には不測の事態に接続している機材へのダメージを最小限に抑えるため、保護機能が備え付けられています。

回路のショート：

スピーカーがショートした際、アンプ部への過負荷を抑える為に出力をカットします。

ターミナル：

特にブリッジモノモードでの使用の際に高熱を持つ場合があります。ファンでも制御しきれない程の高温になった場合には回路を遮断しミュート状態となります。

出力DCオフセット：

直流電流がパワーアンプとスピーカー間に流れてしまうことを防ぎます。

電源オン/ミュートオフ：

信号を送信する際のタイムラグ間にミュートをかけ、ノイズなどの雑音が無い状態にします。

サブソニック：

10Hz以下の周波数は、スピーカーに負担をかけてしまう可能性があります。その為、スピーカーに負担をかけない様、10Hz以下の周波数をカットするフィルターを備えています。

RF保護：

200kHz以上の無線周波数をカットして、無線周波数による干渉を回避させることができます。

仕様

	MAX 860 Plus	MAX 1500 Plus	MAX 2500 Plus
ステレオモード	1チャンネル平均出力		
8Ω EIA 1kHz 0.1%THD	200W	280W	500W
4Ω EIA 1kHz 0.1%THD	300W	450W	750W
ブリッジモノモード	平均出力		
8Ω EIA 1kHz 0.1%THD	600W	900W	1500W
全てのモード			
出力回路	Class H		
入力感度 @ 8Ω	1.23V (+4dBu)		
歪み(SMPTE-IM)	<0.01%	<0.02%	
ノイズ (unweighted 20Hz-20KHz below rated output)	100dB		
Damping Factor	>300 @ 8Ω		
周波数特性	20 Hz-20KHz, +0/-1dB; -3dB points: 5Hz-50KHz		
入力インピーダンス	20 K Ω balanced, 10 K Ω unbalanced		
冷却装置	スピードファン搭載		
コネクタ	入力: XLR、1/4" フォン; 出力: Speakon、バインディングポイント		
インジケータ	Power: Blue LED; SIGNAL: Green LED; PEAK: Red LED		
コントロールパネル			
フロントパネル	CH1 & CH2 GAIN knobs with 21 detents		
リアパネル	Slide switches: Operation mode: Parallel, Bridge, Stereo; Grounding/Floating; Current-Break reset button		
保護回路	Short circuit, thermal, subsonic, RF protection, Output DC offset, Power on/off muting		
消費電力	600W	900W	1500W
サイズ (WxHxD)	482.8 x 88.1 x 415 mm		
重量	14.6kg		

PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/